



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月12日

上場会社名 株式会社 フェイス

上場取引所 東

コード番号 4295 URL <http://www.faith.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 平澤 創

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者

(氏名) 佐伯 次郎

TEL 03-5464-7633

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日

平成25年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	3,172	△7.1	309	△45.0	342	△39.8	332	△34.8
25年3月期第2四半期	3,413	△88.5	564	△48.0	569	△50.7	509	△91.7

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 543百万円 (19.2%) 25年3月期第2四半期 455百万円 (△92.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	29.17	29.17
25年3月期第2四半期	44.38	—

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行なわれたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	22,874	21,038	92.0	1,846.56
25年3月期	22,611	20,552	90.9	1,803.89

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 21,038百万円 25年3月期 20,552百万円

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行なわれたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
26年3月期	—	50.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。  
なお、平成26年3月期(予想)の配当金については、当該株式分割の実施に伴う影響を考慮しております。

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,700	△0.5	400	△60.5	440	△60.7	380	△65.8	33.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。  
なお、連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該株式分割の実施に伴う影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	11,960,000 株	25年3月期	11,960,000 株
② 期末自己株式数	566,570 株	25年3月期	566,570 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	11,393,430 株	25年3月期2Q	11,480,500 株

(注)当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。上記の株式数につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し算出しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算短信補足説明資料及び四半期決算説明会資料の入手方法)

四半期決算短信補足説明資料は平成25年11月12日(火)、また四半期決算説明会資料は平成25年11月15日(金)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

平成25年9月での国内における携帯・スマートフォンの累計契約数は、1億4,019万件<sup>(※1)</sup>となりました。特に、平成25年度のスマートフォン出荷台数は2,990万台と予測され、全体の75.5%<sup>(※2)</sup>と勢いが続いておりません。

これらスマートフォンやタブレット端末の普及を背景として、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）やソーシャルゲーム等、情報流通手段の多様化に伴い、ユーザーニーズに即した新たなサービスやコンテンツ流通のしくみ創りが求められています。

※1 一般社団法人電気通信事業者協会発表資料、※2 株式会社MM総研調べ  
 このような複雑化する市場環境に対し、当社グループは、『マルチコンテンツ&マルチプラットフォーム戦略（様々なコンテンツを、必要なときに、必要な場所で楽しむことができる環境の創造）』のもと、付加価値の高い優良なコンテンツを速やかに市場に投入できるよう、音楽や映像等のコンテンツ制作プロデュースを推進するとともに、普及が加速するスマートフォン向けの新たなサービスを提供するなど、ユーザーにとって利便性の高いサービスの提供を進めております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、スマートフォン向けの音楽ストリーミング配信サービスや、アプリケーションの配信強化等、スマートフォンユーザーの顧客獲得に注力いたしました。

なお、当社は、平成25年10月1日付にて、普通株式1株を10株に分割する株式分割を行うとともに、証券市場で株式を売買できる取引単位（単元株式）を1株から100株に変更いたしております。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比7.1%減の3,172百万円、営業利益は前年同期比45.0%減の309百万円、経常利益は前年同期比39.8%減の342百万円、四半期純利益は前年同期比34.8%減の332百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### <コンテンツ事業>

コンテンツ事業のうち、着信メロディ事業はスマートフォン向けに市場が移行していることから、売上が減少する傾向にあるため、拡大を続けるモバイル市場に対応したアプリケーションの配信強化を行うなど、スマートフォンユーザーの顧客獲得のための施策を展開しております。

日本初のレコメンド機能を有するインターネットラジオ「FaRao<sup>TM</sup>（ファラオ）」は、スマートフォンでの展開のほか、西日本電信電話株式会社の「光BOX<sup>+</sup> HB-1000」に標準搭載され、テレビのような操作感で音楽を楽しむ新しいサービスとしても提供いたしました。また、未就学児向けの知育アプリケーションブランド「Kidzaplanet<sup>TM</sup>（キッズプラネット）」では、7月にリリースした「みんなの虫めがね探検」や「どうぶつパズル」を含む10タイトルのダウンロード数は累計約70万に達し、その半数以上が東南アジア諸国でダウンロードされるなど、海外でも人気のアプリケーションとなっています。

さらに、コンテンツの充実を図るため、レディ・ガガのファッションを手掛けたニコラ・フォルミケッティ氏をプロデューサーに迎え、世界に向けた日本を代表する「ガールズボーカルユニット」を発掘するためのオーディションプロジェクト『POP ICON PROJECT TOKYO』を8月より開始いたしました。9月末までに1,000名近い応募をいただき、第1次審査通過者50名による第2次審査を経て、12月に開催される最終審査で日本コロムビア株式会社からデビューするユニットが決定する予定となっています。

コンテンツ事業の売上高は、スマートフォン向けサービスの拡充に努めたものの、フィーチャーフォン向けサービス減収の影響により前年同期比8.6%減の2,519百万円となり、営業利益は前年同期比45.0%減の272百万円となりました。

#### <ポイント事業>

ポイント事業については、政府管掌復興支援住宅エコポイントの終了による影響を受けましたが、既存加盟店の販売促進強化などで発行ポイントが堅調に推移し、売上高は前年同期比0.5%減の653百万円となりました。営業利益は下半期の増収に向けた販売促進費の増加および新規事業の費用増により前年同期比46.4%減の36百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(財政状態の分析)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて263百万円増加し、22,874百万円となりました。主として投資有価証券が増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて222百万円減少し、1,836百万円となりました。主として返済に伴う長期借入金の減少および法人税等の納付に伴う未払法人税等の減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて486百万円増加し、21,038百万円となりました。これは、四半期純利益を計上したこと等による利益剰余金の増加とその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。これにより、自己資本比率は1.1ポイント増加して、92.0%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ2,224百万円増加し、8,349百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益381百万円に法人税等の還付額698百万円や利息及び配当金の受取額326百万円を加算したこと等により、1,308百万円の収入（前年同期は668百万円の支出）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入による支出が4,023百万円あったものの、定期預金の払戻による収入が5,192百万円あったこと等により、前年同期比20.2%増の1,173百万円の収入となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出が199百万円、配当金の支払額が56百万円あったため、前年同期比0.2%減の258百万円の支出となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。なお、現時点での通期の業績予想につきましては、平成25年11月8日に開示いたしました数値に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、平成25年4月に株式会社エンターメディアの全株式を取得し、連結子会社としております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,076,535	13,131,969
受取手形及び売掛金	930,681	916,291
有価証券	540,780	341,297
商品及び製品	4,464	10,587
仕掛品	5,633	9,632
原材料及び貯蔵品	7,004	7,996
未収還付法人税等	696,298	—
繰延税金資産	224,075	220,925
その他	117,874	114,585
貸倒引当金	△21,627	△19,868
流動資産合計	14,581,719	14,733,417
固定資産		
有形固定資産	2,870,397	2,840,249
無形固定資産		
のれん	16,269	37,560
その他	317,804	333,754
無形固定資産合計	334,074	371,315
投資その他の資産		
投資有価証券	4,761,282	4,862,194
その他	63,890	67,922
貸倒引当金	△225	△205
投資その他の資産合計	4,824,948	4,929,911
固定資産合計	8,029,420	8,141,477
資産合計	22,611,140	22,874,895
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	203,006	146,155
短期借入金	409,884	409,884
リース債務	4,453	6,342
未払法人税等	145,492	49,990
ポイント引当金	175,091	176,996
賞与引当金	73,914	94,512
その他	411,137	403,257
流動負債合計	1,422,978	1,287,139
固定負債		
長期借入金	333,400	133,408
リース債務	13,030	17,413
繰延税金負債	156,077	271,094
退職給付引当金	127,394	121,097
その他	5,755	6,059
固定負債合計	635,657	549,071
負債合計	2,058,636	1,836,211

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,218,000	3,218,000
資本剰余金	3,708,355	3,708,355
利益剰余金	14,103,509	14,378,915
自己株式	△751,372	△751,372
株主資本合計	20,278,491	20,553,897
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	283,308	492,409
為替換算調整勘定	△9,296	△7,623
その他の包括利益累計額合計	274,012	484,786
純資産合計	20,552,504	21,038,683
負債純資産合計	22,611,140	22,874,895

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	3,413,657	3,172,633
売上原価	1,675,952	1,757,326
売上総利益	1,737,705	1,415,307
販売費及び一般管理費	1,173,614	1,105,334
営業利益	564,090	309,973
営業外収益		
受取利息	17,013	9,708
受取配当金	3,767	4,407
有価証券利息	1,729	1,525
投資事業組合運用益	—	4,909
為替差益	—	1,861
還付加算金	—	18,669
雑収入	2,062	6,344
営業外収益合計	24,573	47,426
営業外費用		
支払利息	3,888	3,077
持分法による投資損失	3,094	11,558
投資事業組合損失	4,165	—
為替差損	8,393	—
雑支出	103	—
営業外費用合計	19,646	14,636
経常利益	569,017	342,762
特別利益		
固定資産売却益	316	—
投資有価証券売却益	51,400	25,220
持分変動利益	—	3,759
事業譲渡益	—	28,320
特別利益合計	51,716	57,300
特別損失		
固定資産処分損	5,015	8,983
投資有価証券評価損	2,573	—
海外税務関連損失	11,892	7,491
移転費用	—	2,314
特別損失合計	19,481	18,790
税金等調整前四半期純利益	601,251	381,272
法人税等	106,064	48,899
少数株主損益調整前四半期純利益	495,187	332,372
少数株主損失(△)	△14,339	—
四半期純利益	509,526	332,372

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	495,187	332,372
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32,933	208,264
持分法適用会社に対する持分相当額	△6,636	2,509
その他の包括利益合計	△39,570	210,773
四半期包括利益	455,616	543,146
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	469,955	543,146
少数株主に係る四半期包括利益	△14,339	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	601,251	381,272
減価償却費	141,486	121,835
のれん償却額	12,165	15,336
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,809	△1,826
賞与引当金の増減額 (△は減少)	20,258	20,598
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△15,765	1,918
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	9,721	△6,296
受取利息及び受取配当金	△20,780	△14,116
有価証券利息	△1,729	△1,525
支払利息	3,888	3,077
為替差損益 (△は益)	10,903	△1,861
投資有価証券売却損益 (△は益)	△51,400	△25,220
投資有価証券評価損益 (△は益)	2,573	—
持分法による投資損益 (△は益)	3,094	11,558
持分変動損益 (△は益)	—	△3,759
固定資産売却損益 (△は益)	△316	—
固定資産処分損益 (△は益)	5,015	8,983
事業譲渡損益 (△は益)	—	△28,320
売上債権の増減額 (△は増加)	39,539	116,020
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△8,081	△5,623
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,668	△69,308
未払消費税等の増減額 (△は減少)	27,990	5,269
その他	△97,518	△88,757
小計	677,819	439,254
利息及び配当金の受取額	33,387	326,312
利息の支払額	△3,890	△3,144
法人税等の還付額	537	698,805
法人税等の支払額	△1,376,739	△152,946
営業活動によるキャッシュ・フロー	△668,885	1,308,281

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△3,532,145	△4,023,238
定期預金の払戻による収入	4,490,000	5,192,145
有価証券の償還による収入	—	200,000
有形固定資産の取得による支出	△26,385	△26,495
ソフトウェアの取得による支出	△78,946	△103,115
投資有価証券の取得による支出	—	△50,000
投資有価証券の売却による収入	61,400	26,220
関係会社株式の取得による支出	—	△30,000
事業譲渡による収入	—	28,571
のれんの取得による支出	—	△5,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△35,926
子会社の清算による収入	28,318	—
貸付金の回収による収入	60	40
敷金の差入による支出	—	△5,082
敷金の回収による収入	29,225	5,082
その他	4,787	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	976,313	1,173,199
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△2,136	△2,255
長期借入金の返済による支出	△199,992	△199,992
配当金の支払額	△56,944	△56,418
財務活動によるキャッシュ・フロー	△259,073	△258,665
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10,596	1,861
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	37,757	2,224,677
現金及び現金同等物の期首残高	8,961,796	6,125,200
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△28,338	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,971,215	8,349,878

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コンテンツ	ポイント	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	2,756,986	656,671	3,413,657	—	3,413,657
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,041	—	9,041	△9,041	—
計	2,766,027	656,671	3,422,699	△9,041	3,413,657
セグメント利益	495,912	68,094	564,006	84	564,090

(注) 1. セグメント利益の調整額84千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産にかかる重要な減損損失を認識していないため、また、のれんの金額に重要な変動が生じていないため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コンテンツ	ポイント	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	2,519,306	653,326	3,172,633	—	3,172,633
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,152	112	7,264	△7,264	—
計	2,526,459	653,438	3,179,898	△7,264	3,172,633
セグメント利益	272,971	36,497	309,469	504	309,973

(注) 1. セグメント利益の調整額504千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産にかかる重要な減損損失を認識していないため、また、のれんの金額に重要な変動が生じていないため、記載を省略しております。